

1 教育目標

教育目標「明るく たくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることができる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

- 実施時期 令和3年2月1日～5日
- 対象 保護者、全職員

*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 思わない 各問にAからDより1つ選んで回答した人数の合計を示している。

*園児数21 回収数17 保護者回収率81%

	項目	保護者					職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	その他	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①子供は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	17	0	0	0	0	7	0	0	0	・今年度は研究主題「夢中になって遊びを楽しむ幼児をめざして—やってみたい！面白い！と心が動く保育の振り返り—とし、幼児の心が動く要因や学びを探り、分析することで、教師がクラスの実態に応じて願いを込めて大切に心掛けていた環境の構成や援助との関連性について再確認し、資質向上に努めてきた。 項目①②③④⑥はAの回答率が高く、項目⑤はBの回答も見られるが、本園の『遊びは学び』の教育を喜ぶ声が多く、研究主題につながる幼児の育ちは実感できていたのではないかとと思われる。
	②子供は、幼稚園に気の合う友達がいる	16	1	0	0	0	5	2	0	0	
	③子供は、いろいろなことに興味をもったり、不思議に感じたりしている姿が見られる	17	0	0	0	0	7	0	0	0	
	④子供は、面白そう、やってみたいと感じ、自分なりに試したり、繰り返したりして、一緒に遊びを楽しんでいる	16	1	0	0	0	7	0	0	0	

保育内容・研究推進	⑤子供は、友達と楽しいことを共有しようとしていたり、自分の考えを伝えようとしていたりして、一緒に遊びを楽しんでいる	12	5	0	0	0	6	1	0	0	<p>*項目⑤のBの回答については、子供の育ちが見られる時期は様々で友達への伝え方も様々ではあるが、成長した姿をどれだけ具体的に分かりやすく情報発信できていたかと感じている。友達の面白い様子に刺激を受け、自分だけでなく友達と一緒に考えて取り組むことを楽しみながら実現に向かう面白さを感じていた姿が多く、また一年を通じて子供一人一人が感じたことややってみてみたい願いなどを言葉にし、伝え合う機会を大切にしてきたことから、自分のことのように考えたり、友達の考えを肯定的に受け止めて考えをまとめていく話し合いもできるようになったりしているため、今後も情報発信していきたい。</p> <p>・神戸常盤大学教育学部学部長大森雅人先生にご指導を仰ぎ、教師の資質向上に努めてきた。幼児教育における資質・能力の3つの柱から教師が印象に残った場面の振り返りがしやすいよう『振り返りシート』を作成し、積み重ねた事例を年間で時系列に整理したことで、幼児の心が動いた要因を順番に振り返りながら育ちの過程を確かめ、教師が心掛けていたことも明確になったので、手応えと自信につながった。</p>
	⑥幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	17	0	0	0	0	7	0	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、子供の様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	17	0	0	0	0	4	3	0	0	<p>・項目⑦⑨はAの回答率が高い。ホームページを印刷して掲示し、登降園時には保護者へ子供の様子を伝え、保育の記録写真を載せたクラスだよりなど視覚的な工夫を心掛けてきた。今年度からの職員も多い中、保護者と話せることを嬉しく感じていたため有難く感じている。</p> <p>・項目⑧⑩⑪はBの回答もある中、Aの回答率が高く、コロナ禍で保育参観や地域との交流が少なかったにもかかわらず、状況をみてできる最善の工夫を考えていたことにご理解いただいている言葉が多く、地域にはいつも園のことを気に掛けていただいていたことから地域に根差した幼稚園であることに感謝の気持ちであった。これからもこのつながりを大切にしていきたい。</p> <p>*今年度からの職員にとっては、地域や学校とのつながりや取り組みを今までの話や記録写真などで理解することが多かったため、互いに顔見知りになり、つながりが深まるような方法を工夫していきたい。</p>
	⑧幼稚園は、保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じられるようにしている	15	2	0	0	0	4	3	0	0	
	⑨幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	17	0	0	0	0	7	0	0	0	
	⑩幼稚園は、小学校や中学校などと交流する機会をもっている	11	6	0	0	0	1	6	0	0	
	⑪幼稚園は、地域コミュニティ行事への参加や福祉施設訪問などを通して地域との交流を深めようとしている	10	7	0	0	0	2	5	0	0	
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	17	0	0	0	0	6	1	0	0	<p>・項目⑫はAの回答率が高い。コロナ禍で園外に出掛ける機会が少ない分、いかに園内の自然環境で楽しむ工夫ができるかを検討したことで、畑・花壇など園全体の自然を身近に感じて有効活用できたと思われる。</p> <p>・項目⑬⑭(⑯は今年度追加項目)もAの回答率が高い。職員数が少ないが、それを感じさせない協力体制の強化を感じていただけたことを有難く思う。安全・安心な環境で伸び伸び遊べるよう新しい生活スタイルを確立するために職員全員が知恵を出し合い、再構成しながら消毒作業や点検などを行った。今年度の学びを次年度につなげていきたい。</p> <p>・項目⑭⑮についてもAの回答率が高く、園再開の6月からすぐ災害時の対応について取り組み、事前に災害時の園の判断基準をお示ししたうえで、保護者への引き渡し訓練なども合わせて安全に行動できるよう見直しを行うことができた。</p> <p>*園内の施設・遊具の全てを有効活用していくために敷地全ての草引きを職員全員で何度も取り組んだ。職員数が少ないため次年度に向けてシートを敷くなど少しずつ取り組んでいるところである。</p>
	⑬幼稚園は、施設や遊具の安全に努めている	17	0	0	0	0	6	1	0	0	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	17	0	0	0	0	7	0	0	0	
	⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	16	1	0	0	0	6	1	0	0	
	⑯幼稚園は、園舎内外の感染予防に努め、遊びや生活の中で子供の新しい生活スタイルが身に付くように心掛けている	17	0	0	0	0	7	0	0	0	

※「学校評価アンケート」集計結果について(保護者配布プリント)」添付

4 学校園関係者評価結果

- 評価委員会開催日 令和3年3月4日
- 評価委員会 学校評議員 清和台小学校長
 けやき坂小学校区主任児童委員
 民生・児童委員
 前年度保護者会長
 学校関係者評価委員 親子体操講師

○内容

- ・年間の取り組みについて（卒園式で上映予定の一年間の思い出を振り返るスライドショーや園長だよりより）
- ・学校評価アンケートについて
- ・今後の課題と方策について

	項 目	評価				・ 評価委員会のご意見
		A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①子供は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として配慮と工夫が必要な1年であったが、ソーシャルディスタンスが必要な中、年長13名・年少8名という今の人数をうまく活用して満足いく教育をされていたと思われる。 ・異年齢交流も活発に取り入れ、互いに思いを出し合いながら遊びが展開されていたと思われる。どちらがどの学年かわからないほどよく遊び込んでおり、たくましく自分から考えて遊ぶことを楽しむ子供に育っていると感じる。 ・友達と思いを共有してどれだけ遊べているか保護者には伝わりにくいかもしれないが、遊ぶ時の遊び方や感じ方は様々でその子にあったほどよい立ち位置があり、バランス感覚が集団の中にはある。伝え合うより聞き合うことが大切で、聞くことが心地よい子もいる。社会性を育てることは必要だが、思慮深い子供もいるので、友達との共有においては個々の感じ方を認め、保護者に伝えていけばいいのではないかと。
	②子供は、幼稚園に気の合う友達がいる	5	0	0	0	
	③子供は、いろいろなことに興味をもったり、不思議に感じたりしている姿が見られる	5	0	0	0	
	④子供は、面白そう、やってみたいと感じ、自分なりに試したり、繰り返したりして、一緒に遊びを楽しんでいる	5	0	0	0	
	⑤子供は、友達と楽しいことを共有しようとしていたり、自分の考えを伝えようとしていたりして、一緒に遊びを楽しんでいる	4	1	0	0	
	⑥幼稚園は、子供が自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	5	0	0	0	

幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、子供の様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、小学校との交流ではもう少しの間、工夫が必要になると思われる。コロナ禍であっても幼稚園のことを気に掛け、互いにつながる思いは変わらないので、今後もできることを工夫していきたい。 ・時々訪問したり、隣の公園を通りがかったりすると、子供の元気いっぱいの笑顔と大きな声でご挨拶をしてくれることがとても嬉しい。このことは何よりも子供の心の豊かさが備わっているからだと感じる。先生方の『心之眼』が行き届いてこそ子供の本当の成長に現れることを実感した。 ・園だけでなく小学校も子供の数が減ってくると、今後職員も減ることにつながり、運営が回せていけるのかという思いもあるが、地域の思いに寄り添いながら取り組んでいきたいものである。
	⑧幼稚園は、保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じられるようにしている	5	0	0	0	
	⑨幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	5	0	0	0	
	⑩幼稚園は、小学校や中学校などと交流する機会をもっている	4	1	0	0	
	⑪幼稚園は、地域コミュニティ行事への参加や福祉施設訪問などを通して地域との交流を深ようとしている	4	1	0	0	
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で園外保育に出掛けることもなかなか難しい現状の中で、いかに園内の自然や設備を活用し、満足いく生活ができるように工夫されているかとてもよく分かった。コロナ禍で小学校のプールを借りることができなくても、その分、夏の間水着で園庭いっぱい固定遊具を利用したウォータースライダーをし、川づくりや泥んこ遊びなど存分にできた生活はとてもうらやましく感じるほどである。 ・子供が安全、安心して生活できるよう、先生方が日々努力されている様子がとてもよく分かり、保護者も安心していただけのではないと思われる。 ・コロナ禍であっても運営をゆるめるわけにはいかないのが管理職側の悩みだと思う。 ・今年度はコロナ禍の中、先生方の努力に支えられた日常で、できることの最大限だったのではないと思う。この先も見通しが難しいと思われるが、このまま子供が伸び伸びと楽しい生活を送り、成長していけるよう引き続きお願いします。
	⑬幼稚園は、施設や遊具の安全に努めている	5	0	0	0	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	5	0	0	0	
	⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	5	0	0	0	
	⑯幼稚園は、園舎内外の感染予防に努め、遊びや生活の中で子供の新しい生活スタイルが身に付くように心掛けている	5	0	0	0	

○学校関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○コロナ禍で行事についてはご来賓をお招きすることができなかったが、行事など取り組みが報告できるよう、『園長だより』では取り組みの写真を多く掲載し、学校評議員をはじめ地域関係者に配布し、新しい生活様式での工夫や現状について報告できるようにした。また学校評議員会の会ごとに子供の様子をスライド上映し、幼児の姿を通して、幼稚園教育や運営について意見をうかがうことができた。

○保護者対象の評価アンケートの結果を基にして、来年度に向けた課題や方策について示唆をいただくことができた。

○園児減少により清和台幼稚園の存続については厳しい現状であるが、地域の声に寄り添いながら今後も地域に根ざした幼稚園としての意義が発揮できるようあたたかい励ましの言葉をいただいた。